

サ 一 ク 間 ⑧

美しいハーモニーを皆さんに

大正琴桃生第一教室

真剣な面持ちで琴の前に座り、弦を弾く。美しい音色が幾重にも重なり、美しい曲の調べが響き渡っていました。来年1月に行われる桃生芸能祭に向けて練習に励んでいる「大正琴桃生第一教室」の皆さんをご紹介します。



大正琴桃生第一教室が開講したのは、今から十数年前。公民館行事として行われたのがきっかけです。現在、生徒数は8人。桃生芸能祭に向けて、「舟唄」「ダイアナ」という曲を練習中です。

大正琴は、その名の通り大正時代に発明され、タイプライターを打つように弦を押さえ演奏するのが特徴です。ソプラノ、アルト、テナーといった音色の違う琴があり、「童謡から演歌、歌謡曲など幅広いジャンルの曲を合奏することができると魅力」だそうです。

「指の動きが複雑で難しいですが、楽しみながら演奏しています」と語る生徒の皆さん。大勢の方々に美しい音色を聴いていただけたら、練習に力が入っていました。桃生芸能祭での美しい音の調べを楽しみにしています。



自然を感じて

楽しい時間を

阿曾

道眞作さん
みちまさ
はる子さん
ご夫妻(十八成浜)

今回は、山形市から牡鹿地区の十八成浜へ移住してきた阿曾道眞作さん・はる子さんご夫妻をご紹介します。

昭和49年に結婚し、今年で31年になります。

警察官として勤務していまし

たが、定年前に退職し、自然が豊かで空気のきれいな牡鹿に昨年の4月に移り住みました。自宅はトレーラーハウスと変わっていますが、テラスや家具などを手作りし、快適な生活を送っています。

土地は山野のため、毎日少しずつ開墾していきます。ふるいにかけて石を取り除いた土で野菜を栽培しているほか、いろいろな種類のサルビアやラベンダーなどを一面に咲かせています。

まだまだこれから理想の庭を目指して、自然を感じながら二人で楽しい時間を過ごしていきたいと思っています。



みんなの広

写真撮影が趣味です

細川清之助さん(泉町)90歳

長寿のひけつ

⑧



今年の川開き写真コンクールにおいて入賞・入選した方のなかで最高齢の細川清之助さんを、ご紹介します。

細川さんは、アマチュア無線・洋蘭・ビデオ撮影など多彩な趣味を持っています。今では写真撮影一本に絞っています。

写真撮影は、戦前から行っていて、一時は押入れに暗室を作り、自分で黒白写真の現像焼付をしていました。

本格的に始めたのは、平成8年ごろで、写真クラブに所属して、年に一回の展覧会に出品するほか、各地の写真展に出品しています。川開き写真コンクールのほか河北写真展でも入選しています。細川さんは、普通の35

ミリフィルムではなく、それよりも大きなセミ判と呼ばれるフィルムを使っています。機材も大きく重くなりますが、大きなフィルムで撮影するほうが、撮影結果がいいので、愛用しています。

明け方の風景を撮影するため、早く起きて出かけたり、泊りがけで、撮影旅行をしたりしています。

「撮影旅行が決まると、体調がよくなったりする」と、おっしゃる細川さん、これからも素晴らしい作品を撮り続けてください。



熱き女の戦
(川開き写真コンクール入選作品)

にぎやか家族

宜山町

北上町追波



(写真左から)

西城 哉汰くん(4歳) 伽音ちゃん(9ヵ月) 柚香ちゃん(6歳)

<ママから>

毎日ケンカがばかりしてるけど、何時までも3人仲良く元気に育ってね。

<子ども達の好きな事>

哉汰くん…自転車乗り 伽音ちゃん…食べる事
柚香ちゃん…どろだんご作り



(写真左から)

千葉 あおいちゃん(5歳) まお 真央ちゃん(2歳) みさと 美里ちゃん(6歳)

<ママから>

いつまでも仲良しの三姉妹でいてね

<子ども達から>

やさしいけど、おこると怖いおとうさん。いっぱい大好き!